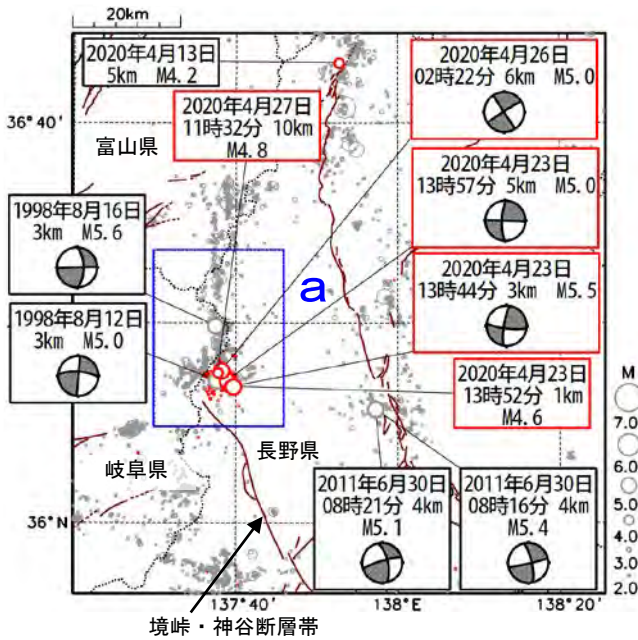


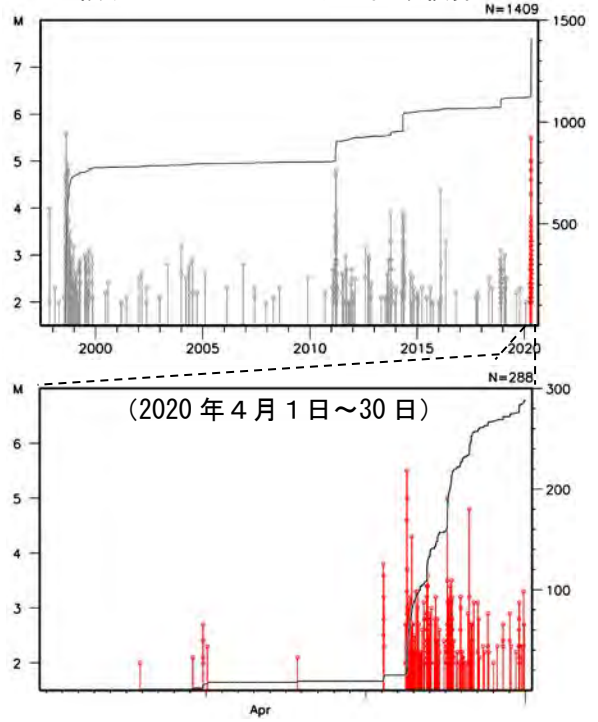
4月23日 長野県中部の地震 (5月13日までの活動)

震央分布図
(1997年10月1日~2020年4月30日、
深さ0~30km、 $M \geq 2.0$)
2020年4月の地震を赤く表示

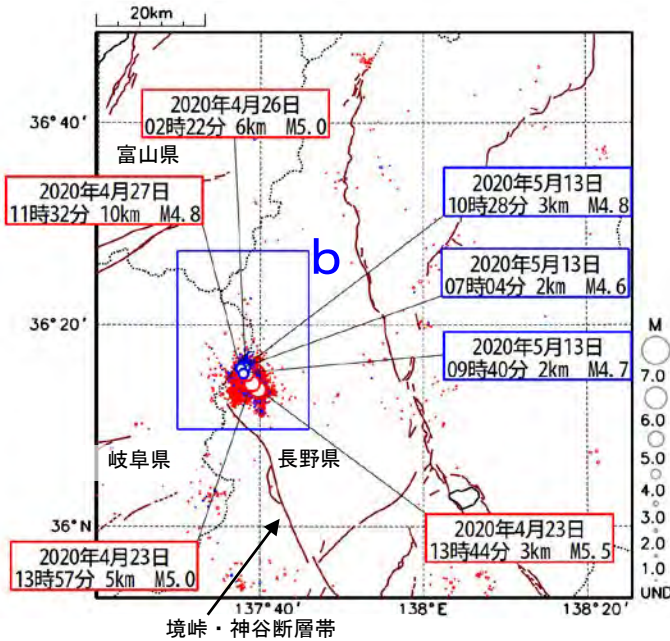


茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



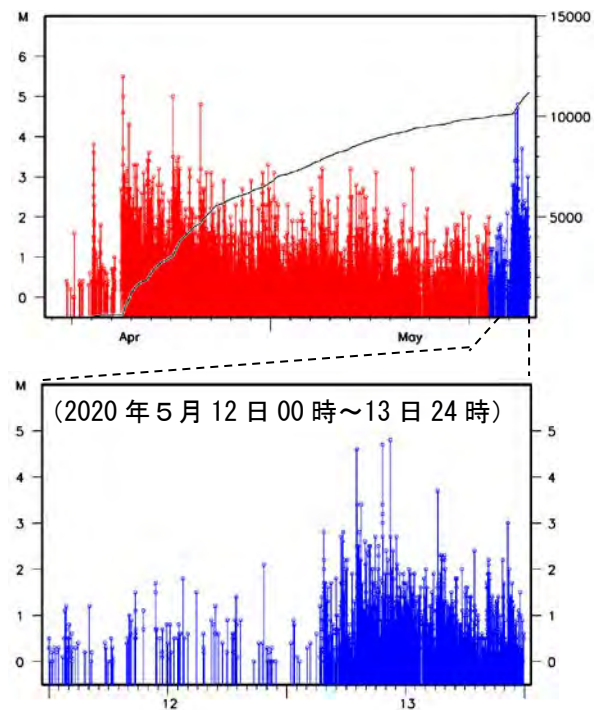
震央分布図
(2020年4月20日00時~2020年5月13日24時、
深さ0~30km、 $M \geq 0.0$)
2020年5月12日以降の地震を青く表示



茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域 b の範囲は領域 a と同じであるが、震源の下限が異なるため便宜上「領域 b」とした

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

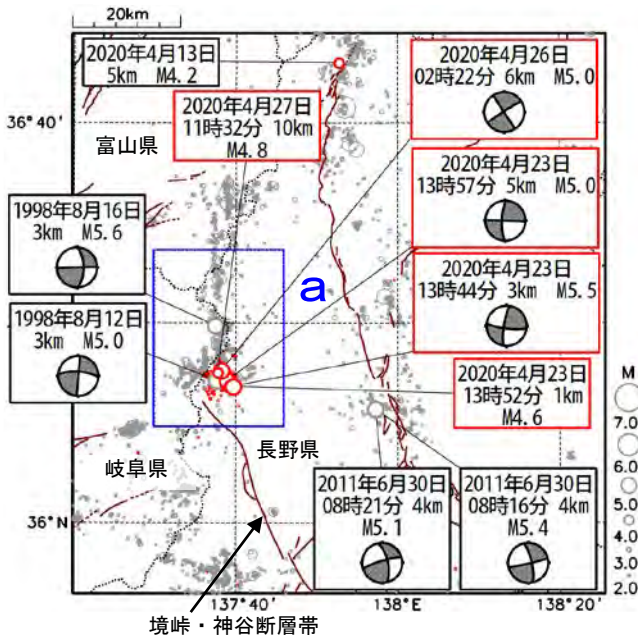


<資料の利用上の留意点>

- ・2020年4月18日以降の震源では、地震の規模の小さな地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以前と比較して微小な地震での震源決定数の変化(増減)が認められる

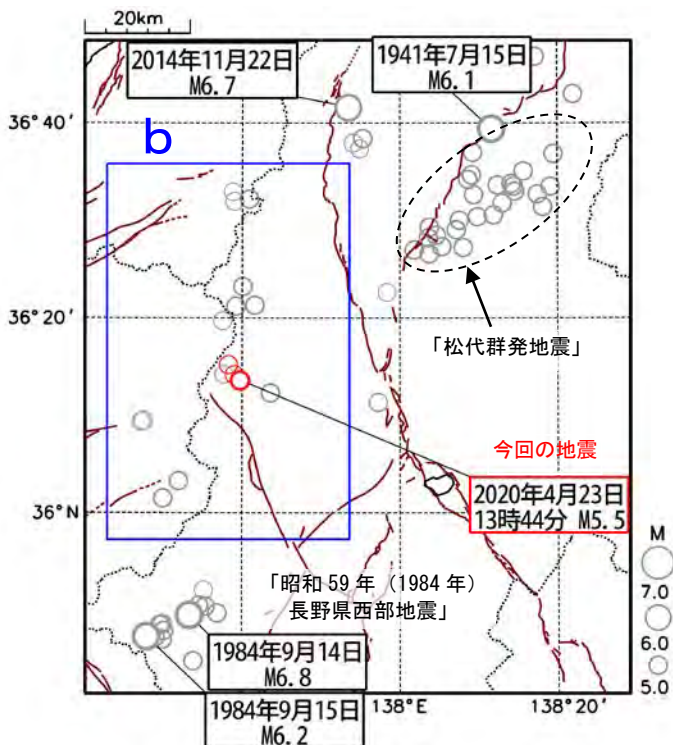
4月23日 長野県中部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2020年4月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2020年4月の地震を赤く表示



茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

震央分布図
(1919年1月1日～2020年4月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2020年4月の地震を赤く表示



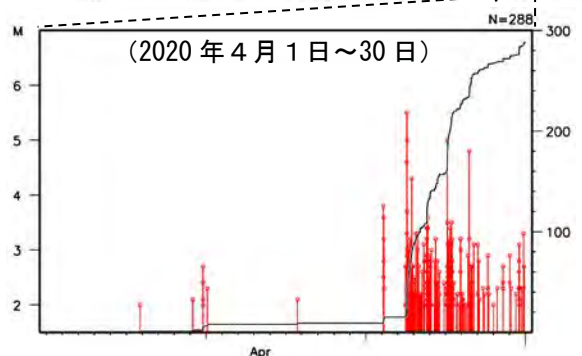
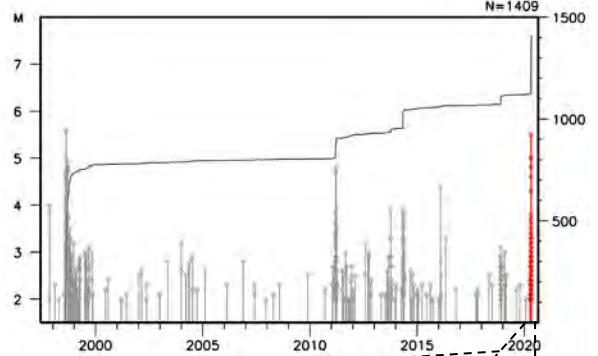
茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2020年4月23日13時44分に長野県中部の深さ3kmで $M 5.5$ の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。また、この地震の発生後、同日13時57分に $M 5.0$ の地震(最大震度3)、26日02時22分に $M 5.0$ の地震(最大震度3)が発生した。これらの地震の震源付近(領域a)では、前日から $M 3.0$ を超える地震が発生しており、4月22日から30日までに震度1以上を観測する地震が67回発生している。

1997年10月以降の活動をみると、領域aでは、1998年8月12日に $M 5.0$ の地震(最大震度5弱)が発生し、その4日後の8月16日に $M 5.6$ の地震(最大震度4)が発生するなど、活発な地震活動が続いた。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、 $M 5.0$ を超える地震が時々発生している。また、領域bの周辺で1965年から発生した「松代群発地震」では、負傷者15人、住宅全壊10棟などの被害が、1984年9月14日に発生した「昭和59年(1984年)長野県西部地震」では、死者29人、負傷者10人などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

